

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年7月7日(木)

第34号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

10日予定のボランティア活動は 参議院議員選挙の投票日の為お休みします

1、被害状況 (該当支部)

7/7 9:00 現在

	城北	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ		0	0	7	6	10		23
全壊		2	1	84	14	16		117
半壊	1	4	3	179	20	39	2	248
瓦・一部	14	21	6	318	40	127	9	535
地盤沈下 液状化			1 (川沿い)					1
土石流避難			4					4

(1) 被災地の状況

- 半壊の仲間から、自治体の補助はほとんどない中、熊建労共済と全国の仲間からの義援金は本当に助かる。
- 地震後壊れた個所をすぐに修理してしまい写真を撮っていない。
- ひどい人もいるからと申請がなく、周りからの呼びかけを進めている

(2) 被災した仲間の要望 (また地域住民からの引き続きの要望)

- ブルーシートの張替でブルーシートを取りに来る組合員多数

2、支援活動

(1) 7月全国の県連・組合からのボランティア参加予定

- 福岡県建設労働組合の仲間が、毎週日曜日 15~20人がボランティアに参加予定
(毎月1回青年部が、行動参加予定)
- 7月10日は参議院議員選挙、7月31日は熊建労執行委員会により、ボランティア活動を休みます。
- 7月17日の予定でしたが、被災ゴミ集積場の稼働日に合わせ18日(月)祝日にボランティアを実施します。

布田川断層の地元住民説明会で 約2000年に1回の周期で地震が起こる



11号でお伝えした益城町の布田川断層帯について、京都大学の教授が「過去7000年に3回の熊本地震と同規模の地震が起きている。周期は約2000年に1回」と地元住民説明会で明らかにしました。

地権者の方も調査に協力されており、「調査結果を資料に残し、後世の防災につなげてほしい」と言われています。日本活断層学会から保存の要望が出ていますが、反対意見も出されています。被災者に寄り添った解決策が必要です。